



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	佐賀 L I X I L	H	○ 2 - 0	<p>第47回九州リーグ開幕、おめでとうございます。今大会に今年も参加できることを嬉しく思います。</p> <p>これからもこの大会が発展しながら続くことを期待し、そして、熊本県教員蹴友団も一緒に成長していきたいと思えます。</p> <p>さて、沖縄での2日間はとても暑い中での試合でした。初戦のリクシル戦はしっかり守り、チャンスを生かして得点し、うちらしい試合ができ、勝つことができました。勝ち点3を取れてホッとしています。</p> <p>2日目の海邦銀行戦は前半は失点せずにしのげましたが、後半失点を重ねてしまい、負けてしまいました。</p>
2	海邦銀行 S C	A	● 2 - 4	<p>昨年度からすると3連敗中ですので、次こそは一矢報いたいと思えます。仲間監督、次は約束守ってくださいね。</p> <p>最後に、とても素晴らしいグラウンドを提供してくださったり、運営をしてくださったりした沖縄県サッカー協会の方々、社会人部会の方々、暑い中ボールパーソンをしてもらった子どもたちに感謝申し上げます。</p> <p>また、熊本から応援に来ていただいた社会人部会の方々、差し入れもありがとうございました。</p> <p>今年度も必死に頑張りたいと思えますので、応援よろしくお願ひします。</p>
3	日本製鉄大分	H	○ 3 - 0	<p>この日は熊本地震が起きて3年目の日でした。そして、試合会場は大きな被災を受けた益城町での試合でした。</p> <p>地元の私たちとしては、自分達の頑張りや結果で、被災された方々や地元熊本の人たちに元気を与えたいという思いを持って、迎えた試合でした。</p> <p>試合の立ち上がりから、押し込まれる場面がありましたが、粘り強く守備をして、良い攻撃ができていました。</p> <p>そんな中で、前半に2点取ることができ、試合を優位に進めることができました。</p> <p>後半もかなり危ない場面がありましたが、何とか失点0で抑えることができ、追加点も取れました。</p> <p>前節は4失点したので、今回の無失点の勝利は自分達の守備に自信を取り戻せた試合になりました。</p> <p>今回試合に勝利できたのは、選手の頑張りに加え、地元益城町の方々の応援のおかげです。</p> <p>また、運営を手伝ってくださった第二高校サッカー部の子どもたちや応援に駆けつけてくれた熊本工業サッカー部の子どもたちの雨に濡れながらの応援が、私たちに力を与えてくれました。とても感謝しています。これからも、応援してくれる方々のためにも必死に頑張りたいと思えます。</p> <p>最後になりましたが、応援に来ていただいた九州リーグの関係者の方々、熊本県サッカー協会社会人部会の方々に感謝しています。</p>
4	九州総合スポーツカレッジ	A	○ 2 - 0	<p>この前の週で天皇杯県予選があり、大学生相手に悔しい敗戦があった後の試合でした。</p> <p>その試合は立ち上がりから、守備が上手くいかなかったり、気持ちの面でも問題があったりした負けでした。そんな試合を繰り返さないように、守備の意識をしっかり持ち、先に失点しないように心掛けて試合に入りました。</p> <p>前半は良い守備からチャンスを多く作れましたがなかなか入らず、もどかしい展開でしたが、何とか1点を取ることができました。</p> <p>後半も途中悪い時間帯がありましたが、粘り強く守備をして、追加点を取ることができました。</p> <p>先週の負けの反省がよくできた試合になり、うれしく思えます。これからも1試合1試合を大事に戦っていきたく思えます。</p> <p>応援していただいたみなさん、ありがとうございました。</p> <p>最後に、素晴らしいグラウンドを提供してくださり、準備、運営、ボールパーソンをしっかりしていただいた九州総合スポーツカレッジのみなさん、大分県サッカー協会の方々には、大変感謝しています。ありがとうございました。</p>
5	NIFS KANOYA FC	A	○ 2 - 0	<p>この日は、台風と言っていいぐらいの暴風雨の中での試合でした。</p> <p>また、他のチームにはない事情である中学校の体育大会で選手が集まらないということで、環境やメンバー状況でとても厳しい試合でした。</p> <p>監督自ら試合に出ないといけない状況で、案の定前半は劣勢を強いられました。それでも何とか凌いで前半を0点で抑えられたことが大きかったです。</p> <p>後半も守備をしっかりしながらカウンターを狙い、その流れのFKで得点することができました。その後も粘り強く守り、終了間際に追加点も取ることができました。</p> <p>これで、リーグ戦4試合目の無失点勝利でチームみんなで喜んでいるところです。これから、上位の2チームと対戦しますので、同様に粘り強く戦いたく思えます。</p> <p>そして、グラウンド設営やボールパーソンなど、とても厳しい悪天候の中で運営をしていただいた二フスのみなさん、大変お世話になりました。</p> <p>また、MCや鹿児島県社会人部会の方々には早めに会場に来ていただき、最後まで見守っていただきありがとうございました。</p> <p>おかげで、安全に試合をすることができました。今後ともよろしくお願ひします。</p> <p>最後になりましたが、この悪天候の中、遠方まで応援に来ていただいた方々、とても力になりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
6	沖縄SV	H	●0-6	<p>ホームの試合でしたが、0-6の惨敗でした。</p> <p>同じスタメンでずっと戦ってきている沖縄SVさんの精度の高いパスワークに翻弄され、ボールの奪いどころがなく、失点を重ねてしまいました。</p> <p>試合前は何とかしてやろうという意気込みがありましたが、中々上手くいきませんでした。多少、チャンスは作れましたが、得点できないまま終わりました。</p> <p>次節は2位のJ. FC MIYAZAKIさんとの試合です。今回の敗戦を生かして、今度こそなんとかしてやりたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、ボールパーソンをしていただいたアスフィード熊本の中学生のみなさん、社会人選手権県予選後に引き続き、運営の手伝いをしていただいた熊本県サッカー協会社会人部会のみなさん、ありがとうございました。</p> <p>また、雨の中に応援に来ていただいたサポーターのみなさん、次節頑張りますので応援よろしく願いいたします。</p>
7	J.FC MIYAZAKI	A	●0-3	<p>前節沖縄SVさんに大量失点で敗戦し、今回も昨年優勝のMIYAZAKIさんとの対戦で今まで以上に守備の意識を高めて臨んだ一戦でした。</p> <p>この試合は、イベントと抱き合わせた試合で、有名な歌手がアップ中にグラウンドの真横で歌っていて、これまで経験したことのない試合のスタートでした。</p> <p>試合序盤は、守備が上手くいき、守備から速攻という自分達のサッカーができてつありました。その中で、失点したことが残念でした。</p> <p>後半も自分たちが考えていないような失点をしてしまい、強い相手に勝つためには先に失点してはいけないことや少ないチャンスをしっかり決めなければならないことを改めて感じました。</p> <p>次節は前期最後の試合になるので、この2試合で経験したことを生かして、頑張りたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、ボールパーソンをしていただいた子どもたちや準備運営をしていただいたJ. FC MIYAZAKIの方々、宮崎県サッカー協会の方々、大変お世話になりました。また、遠くまで応援に来ていただいたサポーターのみなさん、ありがとうございました。</p>
8	九州三菱自動車	A	○2-3	<p>前期終わりの集中開催。4位以上になるためには、勝たなければならない試合で九三さんに逆転勝ちし、その日の試合結果で2年連続の全国社会人選手権大会の九州大会に出場することが決まりました。</p> <p>チームとして、本当に喜びをかみしめることができました。この結果を出せたのは、選手の頑張りはもちろんのこと、応援して下さるの方々のおかげだと思います。</p> <p>昨年はこの大会でとても残念な結果に終わりましたので、今年こそは全国大会出場を決めたいと思っています。</p>
9	川副クラブ	H	●2-3	<p>2日目は川副さんに負けてしまいましたが、九州大会に向けて、今後も恥ずかしくない試合をしていきたいと思っています。</p> <p>最後になりましたが、日本製鐵や九州カレッジの方々、大分県サッカー協会の方々、ボールパーソンの子どもたちへのみなさん、天候の難しい中、運営をありがとうございました。</p> <p>また、遠くまで応援に来ていただいたサポーターのみなさん、ありがとうございました。これからも、応援よろしく願いします。</p>
10	佐賀LIXIL	A	●1-5	<p>後期開幕、第10節 リクシルさんとの試合でした。中体連で多くの選手が集まらず、久しぶりの選手や新加入の選手で臨みました。</p> <p>しかし、チームとしてうまくかみ合わず、久しぶりにリクシルさんに負けました。次回の対戦ではよろしく願いします。</p> <p>第11節 熊本県に大雨警報が出て中体連が延期になり、来れなかった選手が駆けつけてくれました。</p> <p>また、リクシル戦で負けたことをチームで振り返り、時間をかけてチームで話し合いました。</p> <p>その結果、ずっと連敗を続けていた海邦銀行さんに勝つことが出来ました。仲間監督、次の対戦でもよろしく願いします。</p>
11	海邦銀行SC	H	○5-1	<p>後期開幕を1勝1敗で終え勝ち点が取れてよかったと思います。これからも、少しずつ勝ち点を積み重ねたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、佐賀県サッカー協会の方々、リクシル・川副さんのチームの選手、スタッフ、関係者の方々、ボールパーソンをしてくれた子どもたちや大学生など、今回の集中開催での準備、運営、片づけ等、天気の悪い中大変お世話になりました。</p> <p>応援に来て頂いたサポーターの方々にも感謝します。また頑張りたいと思います。</p>



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
12	日本製鉄大分	A	● 0 - 5	<p>試合の立ち上がりには前線から守備をされ、開始2分で失点してしまいました。守備に重点を置いているチームが、序盤で失点してしまうとゲームプランが一気に崩れます。案の定、立て続けに失点し、終わってみれば5失点という惨敗でした。</p> <p>採用試験で主力が集まらない状況でしたが、そんな時こそチームとして個人として結果を出したい試合でした。</p> <p>各自、この敗戦を各自次に生かさなければならぬと思います。</p> <p>最後になりましたが、天気の悪い中、準備・運営・片付けを行っていただいた日本製鉄大分サッカー部のみなさん、県協会の方々、ボールパーソンをしていただいた高校生のみなさん、大変お世話になりました。</p> <p>いつも応援いただいているサポーターのみなさん、次は頑張ります。</p>
13	九州総合スポーツカレッジ	H	○ 2 - 1	<p>前日までかなり天気が悪く、試合当日もどんよりとした中での試合でしたが、大雨や雷もなく、無事試合ができて良かったです。</p> <p>後期、初ホームの試合で、前節大敗をしていたため、改めて守備の意識を確認して試合に臨みました。</p> <p>立ち上がりから相手に押し込まれ、ボールを奪っても繋げない時間が長く続きましたが、カウンターで先制することができました。</p> <p>ただ、ミスで失点し同点で前半を終えました。後半も粘り強く守って、少ないチャンスをものにして、勝利することができました。</p> <p>次節は絶好調のニフスさんです。間か少し空きますので、しっかり準備して、負けないように頑張りたいと思います。</p> <p>最後に、準備や運営、片付けなどお世話いただいた社会人部会の方々、ボールパーソンをしていただいたブレイズの子どもたち、応援してくださったサポーターのみなさん、ありがとうございました。また、頑張ります！</p>
14	NIFS KANOYA FC	H	● 2 - 3	<p>1ヵ月以上も試合が空いてホームゲームでしたが、とても難しい試合でした。</p> <p>何となくタイミングや距離間などのズレがあり、守備も攻撃も今一つという試合になりました。</p> <p>そんな中でミスから失点を重ねてしまい、自分たちも点数を取って追いつきましたが、勝ち点は取れませんでした。</p> <p>次節からは上位との対戦です。守備の意識をしっかり持って、勝ち点が取れるよう頑張りたいと思います。</p> <p>最後になりました、会場設営や運営、ボールパーソンまでしていただいた小川工業サッカー部のみなさん、大変ありがとうございました。</p> <p>また、雨の中、応援に来ていただいたサポーターのみなさん、ありがとうございました。</p>
15	沖縄SV	A	● 1 - 8	<p>仕事等の関係でメンバーがそろわず、監督まで出場しなければならない状態で、沖縄SVさんには大変申し訳ない試合になりました。</p> <p>結果は1-8の大敗。応援していただいている方々にも、申し訳ない結果でした。</p> <p>次節は、2位のJ. FC MIYAZAKIさんとの試合です。今回のような恥ずかしい試合をしないように、しっかり戦いたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、沖縄県サッカー協会の方々、沖縄SVさんの準備・運営等大変お世話になりました。</p> <p>ボールパーソンをしていただいた子どもたちも暑い中ありがとうございました。</p>
16	J.FC MIYAZAKI	H	● 0 - 3	<p>後期、中々勝ち点が取れない試合が続いて、今日こそは勝ち点を！という気持ちを持って臨んだ試合でした。</p> <p>立ち上がりかなり押し込まれていつ失点してもおかしくない状況でしたが、何とかしのげて、今日はいけるかな？と思ったときに失点し、また苦しい状況になりました。</p> <p>後半も追いつくことなく失点を重ね、勝ち点は取れませんでした。そして、気づいてみれば残留争いに名前が挙がってしまいました。</p> <p>残り2試合、その残留争いのチームとの対戦なので、勝ち点を取れるようにしっかり戦い、残留を決めたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、社会人部会の方々、2度目の準備・運営・片付け、ボールパーソンをしていただいた小川工業サッカー部のみなさん、本当にありがとうございました。</p> <p>応援に来ていただいたサポーターの方々にも暑い中ありがとうございました。</p>





節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
17	九州三菱自動車	H	○1 - 0	<p>九州リーグ最終戦。前期4位でありながら、入れ替え戦にかかるという状態で宮崎での2試合を迎えました。</p> <p>九州三菱自動車戦では自力で残留を決めようとチームで確認して試合に臨みました。</p> <p>試合は0対0の状態が続きましたが、後半ショートカウンターから得点でき、そのまま守り切って勝つことができました。</p> <p>自分たちで残留を決めようとしてその通りにできたことは、チームとしても意味ある勝利でした。</p> <p>2日目の川副戦は上位進出もかかっていたので、最後まであきらめず戦う意思で臨みました。</p> <p>台風の影響をかなり受けとても難しい試合でしたが。少ないチャンスをものにして勝つことができました。</p>
18	川副クラブ	A	○2 - 0	<p>この結果、暫定で3位まで上がることができ、チームとしては素晴らしい結果を残すことができました。2試合とも無失点で勝利できたこともよかったです。</p> <p>全社の試合も控えているので、九州代表として恥じない試合をしたいと思います。</p> <p>最後になりましたが、悪天候の中運営等に当たられた宮崎県サッカー協会の方々、社会人部会の方々、J. FC MIYAZAKIのスタッフの方々、ボールパーソンの方々、大変ありがとうございました。</p> <p>また、このリーグに関して運営等に関わられたすべての方々に、感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>そして、いつも応援いただいたサポーターの皆さん、本当にありがとうございました。これからも頑張りますので、応援よろしく願いいたします。</p>